

越後製菓 株式会社

DX宣言書

2025年3月31日
越後製菓 株式会社
代表取締役社長 吉原 忠彦

□ 経営ビジョン

私たちは、元来、日本人が持っている「DNA」を受け継ぎ、「お客様が本当に求めているもの」を常に追求し、「新しい価値を創造し、お客様に感動をお届けする」ために全力を尽くします。そして、「社会に役立つ企業」として世界になくってはならない「ビジョナリー・カンパニー」を目指してまいります。

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ IT活用による社内業務の効率化を図り、従業員がより生き生きと働くことができる職場環境を実現します。
- ◆ 既存のビジネスの在り方を見直し、当社と関わる皆さまへ「新しい価値」をご提供します。

□ DX推進体制

- ・ DX推進チームを設置し、代表取締役社長を実務執行統括責任者とします。
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います。

□ DX推進目標

- ・ 従業員の年次平均有給休暇取得日数13日以上 の達成（～2028年3月）
- ・ 従業員の年次平均時間外労働時間の20%削減の達成（～2028年3月）

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(2025年4月 ～ 2026年3月)

戦略 「DXに対する理解を深め、社内におけるDX推進の機運を高める」

施策 ・ 各個人のDXに対する理解を深めるため、表計算ソフト・グループウェア・経費精算システム等の基礎知識および活用方法を共有する。
・ 各個人・ライン・係で解決可能な非効率業務を抽出し、改善に着手する。
・ 各個人・ライン・係で実際に改善した好事例を集めて、全拠点に横展開し、全社的な業務改善の流れを生み出す。

➤ フェーズ2(2026年4月 ～ 2027年3月)

戦略 「全社的な非効率業務に着目し、改善に向けたプラン策定に着手する」

施策 ・ DXビジョン実現に向けた、課題・具体的な問題を洗い出し、改善に向けたプランに落とし込む。
・ DX推進チーム主導で、優先順位の高いアクションから順次取り組みを開始する。
・ 特に受発注業務においては、早期に改革に着手し、DXの取り組みを加速させる。
・ 部門や拠点をまたぐ課題・具体的問題の解決にあたっては、本部・関係部門からなるプロジェクトチームを発足させて解決にあたる。

➤ フェーズ3(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「プランの着実な実行によりDXビジョンを達成する」

施策 ・ プランの実行により、受発注業務をはじめとした社内各業務の効率化・高度化を実現する。
・ サービスレベル向上、新商品開発へ経営資源を集中し、お客さまへ新しい価値をご提供する。
・ 業務効率化により従業員の労働時間の削減、休暇取得を促進し、より働きやすい職場環境を実現する。
・ 今後もデジタル技術の発展に応じた業務改善を図るため、継続的なDX推進の要望やアイデアを募る。